

事務事業名	財政管理事務事業			事業コード	02010300101
所管部署	財政課	電話	50-3020	記入者名	古道孝佳
事業対象	市民、議会議員、監査委員、市民。				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	効率的な行政運営の推進		事業種別	内部管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市財務規則			
関連計画・マニュアル	無				

【前年度改善案に対する取組状況】

効果的で効率的な予算編成、適正な財務規則の運用による予算執行、適正な基金の管理、健全で維持可能な財政計画の策定等を実施することにより、持続可能な財政運営を図る。

【事務費】
○消耗品費（事務用消耗品、書籍購入費、追録代等） 119千円
○印刷製本費（予算に関する説明書、予算事業別説明資料） 188千円
○委託金（財務書類作成支援業務委託料） 1,937千円
○負担金（行財政問題研究会負担金等） 3千円

事業の目的・事業の概要等

- ・予算編成方針に基づき、効率的な財政運用を目的に、正確な予算編成を行ないます。
- ・財務規則に基づく、適正で効率的な予算の執行管理を行ないます。（施行伺の審査、支出負担行為の審査）
- ・主要な一般財源である地方交付税の算定、各種譲与税、交付金の管理を行います。
- ・財政計画を策定し、総合計画との調整を図り、適切な予算配分を行います。
- ・予算の執行状況や決算等の財政状況を市広報やホームページに掲載します。
- ・各課からの財務会計に関する質問や相談への回答及び指導を行います。
- ・財務会計システムの適正な運用を行います。

すぐに行える改善提案	流用や負担行為などにおいて、財政担当が十分な審査を行うことで適正な予算執行に努める。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	事業の見直しを含めた経費の節減等を行うとともに、自主財源の積極的な確保を図ることなどにより、健全で持続可能な財政運営の維持に努める。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	財政管理費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	1,937千円	2,258千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	307千円	297千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	3千円	56千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	2,247千円	2,611千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	4.53人	32,204千円	5.17人	36,754千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	4.53人	32,204千円	5.17人	36,754千円	人	千円	人	千円
	総事業費	34,451千円	39,365千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
国県支出金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	34,451千円	39,365千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	34,451千円	39,365千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	地方自治法、予算の編成及び執行に関する規則等に基づく事業です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市以外の事業主体は考えられません。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	コストは、ほとんどが人件費であり適正な水準で運用しています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で継続します。			
すぐに行える改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	財政調整基金現在高	千円	年度	目標値	2400000	達成率	2000000	達成率	1000000	達成率	1000000
				実績値		---	2400182	120.01	1974495	---	1646993
成果	経常収支比率	%	年度	目標値	93.0	達成率	93.0	達成率	93.0	達成率	94.0
				実績値		---	88.3	94.95	88.8	95.48	86.4
活動	公債費負担比率	%	年度	目標値	15.0以内	達成率	15.0以内	達成率	15.0以内	達成率	15.0以内
				実績値		---	13.8	---	14.0	---	14.0
活動	将来負担比率	%	年度	目標値	350.0以内	達成率	350.0以内	達成率	350.0以内	達成率	50.0以内
				実績値		---	92.8	---	97.1	---	109.8
活動	実質公債費比率	%	年度	目標値	25.0以内	達成率	25.0以内	達成率	25.0以内	達成率	25.0以内
				実績値		---	11.8	---	13.0	---	14.4
			年度	目標値		達成率		達成率		達成率	
			年度	実績値							

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	水道事業会計補助金			事業コード	04010105101		
所管部署	財政課	電話	50-3020	記入者名	吉川 誠一		
事業対象	市民、上水道使用者						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	効率的な行財政運営の推進			事業種別	内部管理事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	地方公営企業法第17条の2					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	緊急時給水拠点確保等事業を推進するため、一般会計より必要な経費の一部を出資することによって、水道事業会計の健全な運営を図る。						
	○出資金 水道事業会計補助金 43,000千円 水道事業に係る繰出し基準分（緊急時給水拠点確保等事業） 事業費131,000千円×1/3=43,000千円						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
有効性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

すぐにできる改善提案	経営状況を把握し、適正な額の出資を行う。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	経営状況を把握し、適正な出資を行った。		
中長期的に取り組むべき改善提案	独立採算を基本とした経営の自立に向けた経営の効率化を図る。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	包括的民営化による事務の効率性や経費の削減を図り、独立採算を基本とした経営の自立を目指す。		

【前年度改善案に対する取組状況】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
【担当者評価】	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費				
コスト	事業費	報酬 委託費 需用費 役務費 その他 事業費合計	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			43,000 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			43,000 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	人件費	正職員 臨時職員 人件費合計	0.25 人	1,777 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			0.25 人	1,777 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			44,777 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	特定財源 国県支出金 使用料・手数料 分担金・負担金 地方債 その他 一般財源 財源合計	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		43,000 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		1,777 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		44,777 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	独立採算ではありますが、水の安定供給のためは一般会計からの出資も必要です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市以外の事業主体は考えられません。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	必要に応じて基準内の出資または補助していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状のまま取り組みます。			
すぐにできる改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

成果	経常収支比率	%	目標値	89.0	達成率		達成率		達成率	
			実績値		---		---		---	
活動	水道事業補助金	千円	目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値	43000	---		---		---	
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							

【事業の成果】

事務事業名	病院事業会計補助金			事業コード	04010110101
所管部署	財政課	電話	50-3020	記入者名	吉川 誠一
事業対象	市民、病院を利用する市民。				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	効率的な行財政運営の推進		事業種別	内部管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	地方公営企業法第17条の2			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

市立病院の運営を維持するため、一般会計より必要な経費の一部を補助することによって、病院事業会計の健全な運営を図る。

○補助金
病院事業会計補助金 500,000千円

すぐにできる改善提案	経営状況を把握し、適正な繰出しを行う。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	経営状況を把握し、適正な繰出しを行った。
中長期的に取り組むべき改善提案	医師・看護師不足が深刻化しているが、人材の確保、充実を図る取組を行うとともに、引き続き公立病院改革プランに基づき、これまで以上に経営の自立に向けた様々な経営の効率化を図ること。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	三国病院改革プラン評価委員会を設置し、改革プランの点検・評価を行いながら経営効率化を図っていく。

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	500,000千円	350,000千円	千円	千円	千円	千円		
			事業費合計	500,000千円	350,000千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	人件費	正職員	0.17人	1,209千円	0.14人	995千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.17人	1,209千円	0.14人	995千円	人	千円	人	千円
			総事業費	501,209千円	350,995千円	千円	千円	千円	千円		
			特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
				使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
				分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債	千円	千円		千円	千円	千円					
その他	千円	千円		千円	千円	千円					
一般財源	501,209千円	350,995千円	千円	千円	千円	千円					
財源合計	501,209千円	350,995千円	千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	民間病院では経営困難な救急・高度・特殊医療など不採算部門を取り扱っていることから、地域医療の充実のためにも、事業の継続を図ります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	公立病院の役割を考慮すれば、市以外の事業主体は考えられません。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	改革プランに基づき、経営改善を指導・推進し、適正な補助金を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状のまま取り組みます。			
すぐにできる改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
【事業の成果】	成果	経常収支比率	%	目標値 89.0 達成率 90.0	目標値 98.11 達成率 93.0	目標値 94.0 達成率 94.0
				実績値 --- 88.3	実績値 88.8 95.48	実績値 86.4 ---
活動	病院事業会計補助金		千円	目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
				実績値 370000 --- 350000	実績値 --- 375983	実績値 352251 ---
				目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
				実績値 達成率	実績値 達成率	実績値 達成率
				目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
				実績値 達成率	実績値 達成率	実績値 達成率
				目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
				実績値 達成率	実績値 達成率	実績値 達成率

事務事業名	農業集落排水事業会計補助金			事業コード	06010585101		
所管部署	財政課	電話	50-3020	記入者名	吉川 誠一		
事業対象	市民、農業集落排水区域において整備済の居住者。						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	効率的な行財政運営の推進		事業種別	内部管理事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	地方公営企業法第17条の2					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	農業集落における生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図るため、一般会計より必要な経費の一部を補助することによって、農業集落排水事業会計の健全な運営を図る。						
	<p>○補助金 農業集落排水事業会計補助金 30,000千円 【処理区域】 丸岡町竹田地区処理区</p> <p>一般会計より必要な経費の一部を補助する。</p>						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	経営状況を把握し、適正な繰出しを行う。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	経営状況を把握し、適正な繰出しを行った。		
中長期的に取り組むべき改善提案	区域が竹田地区のみで利用者は限定されるが、引き続き歳入増加策や維持管理経費の削減を図る検討を行うこと。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	維持管理経費の節減に努めるなどで繰出額の縮減に努める。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	30,000 千円	40,000 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	30,000 千円	40,000 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.22 人	1,564 千円	0.13 人	924 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.22 人	1,564 千円	0.13 人	924 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		31,564 千円	40,924 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		31,564 千円	40,924 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	31,564 千円	40,924 千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	区域が山間部である丸岡町の竹田地区であるため、公共下水道との接続は困難であることと、利用者も限定されることから、使用料だけでは運営はできないので、一般会計からの繰入金が必要です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市以外の事業主体は考えられません。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	健全な経営を推進し、適正な補助金を交付していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状のまま取り組みます。			
すぐにできる改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	%	目標値	89.0	達成率 90.0	達成率 93.0	達成率 94.0
		実績値		---	88.3 98.11	88.8 95.48
活動	千円	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値	30000	---	40000	---
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値		達成率	達成率	達成率
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値		達成率	達成率	達成率
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値		達成率	達成率	達成率

事務事業名	公共下水道事業会計補助金			事業コード	08040200101		
所管部署	財政課	電話	50-3020	記入者名	吉川 誠一		
事業対象	市民、公共下水道整備済の居住者。						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	効率的な行財政運営の推進		事業種別	内部管理事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	地方公営企業法第17条の2					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	公共用水域の水質保全と住環境の改善を図り、事業を円滑に推進するため、一般会計より必要な経費の一部を補助することによって、公共下水道事業会計の健全な運営を図る。						
	○補助金 公共下水道事業会計補助金 1,400,000千円 一般会計より必要な経費の一部を補助する。						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	経営状況を把握し、適正な繰出しを行う。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	経営状況を把握し、適正な繰出しを行った。		
中長期的に取り組むべき改善提案	企業会計は、本来独立採算性でなければならないことから、経費に応じた料金設定を検討する。また、人件費の削減を含め経費節減に努め、経営の効率化を図り水洗化率の向上に努める。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	現在、民間委託できる事業は極力一括して委託しようという「包括民営化」の実施に向けた検討を行っている。実施されれば人件費を含め経費の削減が期待できる。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	都市計画費	目	公共下水道費				
コスト	事業費		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	1,400,000千円	1,500,000千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	1,400,000千円	1,500,000千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.22人 1,564千円	0.13人 924千円	人	千円	人	千円		
		臨時職員	0.00人 千円	0.00人 千円	人	千円	人	千円		
		人件費合計	0.22人 1,564千円	0.13人 924千円	人	千円	人	千円		
		総事業費	1,401,564千円	1,500,924千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			1,401,564千円	1,500,924千円	千円	千円	千円			
財源合計			1,401,564千円	1,500,924千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	下水道建設の途中であり、使用料だけの運営はできないことから、一般会計からの繰入は必要です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市以外の事業主体は考えられません。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	料金改定等により適正な受益者負担を求めると健全な経営を指導し、基準外の補助金については削減を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状のまま取り組みます。			
すぐに行える改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
経常収支比率		%	目標値	89.0	達成率	90.0	達成率	93.0	達成率	94.0	達成率
			実績値		---	88.3	98.11	88.8	95.48	86.4	---
公共下水道事業会計補助金		千円	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	1400000	---	1500000	---	1650000	---	1600000	---
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	五領川公共下水道事務組合負担金			事業コード	08040205101
所管部署	財政課	電話	50-3020	記入者名	吉川 誠一
事業対象	市民、五領川公共下水道区域において整備済の居住者。				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	効率的な行財政運営の推進		事業種別	内部管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	五領川公共下水道事務組合同規約			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	坂井市及び永平寺町の公共下水道に関する事務のうち、九頭竜川（裏川）廃川敷内並びにその周辺の区域に係る公共下水道の設置、改築、修繕、維持その他の管理に関する事務の共同処理経費のうち坂井市分を負担する。				
	○負担金 五領川公共下水道事務組合負担金 64,201千円 【負担割合】 坂井市 4/10、永平寺町 6/10 【負担金内訳】 企業債利息相当分 18,645千円 減価償却費相当分 45,556千円 合計 64,201千円				
事業の目的・事業の概要等					

すぐにできる改善提案	経営状況を把握し、適正な負担を行う。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	経営状況を把握し、適正な負担を行った。		
中長期的に取り組むべき改善提案	厳しい財政状況を把握すると共に、事務組合においても、今後も五領川公共下水道事務組合中期経営計画（H21～H25）に基づき、これまで以上に経営の自立に向けた様々な経営の効率化を図ること。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	五領川公共下水道事務組合中期経営計画に基づき経営の効率化に取り組んでいる。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	土木費	項	都市計画費	目	公共下水道費			
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	64,201千円	64,109千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	64,201千円	64,109千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.10人 711千円	0.09人 640千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00人 千円	0.00人 千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.10人 711千円	0.09人 640千円	人	千円	人	千円	
	総事業費	64,912千円	64,749千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	千円	230千円	千円	千円	千円	千円	
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		64,912千円	64,519千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	64,912千円	64,749千円	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	永平寺町と共同事務処理を行っていることから、負担割合に応じた費用は必要です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市以外の事業主体は考えられません。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	五領川公共下水道事務組合中期経営計画（H26～）に基づき、適正で効率的な経営を目指すよう指導していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で対応します。			
すぐにできる改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
	経常収支比率	%	目標値	89.0 達成率	93.0 達成率	93.0 達成率	94.0 達成率
活動	五領川公共下水道事務組合負担金	千円	実績値	---	88.3 94.95	88.8 95.48	86.4 ---
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値	64201	---	64109	---
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率	達成率
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率	達成率
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率	達成率

【事業の成果】

事務事業名	市債償還元金			事業コード	12010100101		
所管部署	財政課	電話	50-3020	記入者名	吉川 誠一		
事業対象	各金融機関。						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）		
	基本計画	効率的な行政運営の推進		事業種別	内部管理事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	地方自治法					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	前年度末までに借り入れた市債の償還元金。						
	○償還金、利子及び割引料 公債費 市債償還元金 2,948,651千円 ・償還計画に基づき、当該年度の元金償還金所要額について予算措置を行う。 ・借入先金融機関等から送付される請求書の内容と償還計画とを突合し、約定期日に支払う。						

【事業の概要】

すぐに行ける改善提案	有利な条件での借り入れに努める。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	最も有利な条件を示した金融機関からの借入を行った。		
中長期的に取り組むべき改善提案	学校の耐震補強改修事業や学校給食センター建設事業など大型事業の推進等により、市債発行額が増加していることから、実質公債費比率の財政健全化を意識した取り組みが必要である。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	借入にあたり、普通交付税の代替財源となる臨時財政対策債や、交付税参入率の高い合併特例債などの有利な地方債の借入に努めている。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	公債費	項	公債費	目	元金				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.38人	2,701千円	0.37人	2,630千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.38人	2,701千円	0.37人	2,630千円	人	千円	人	千円
総事業費		2,701千円	2,630千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	-千円	-千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	-千円	-千円	千円	千円	千円				
	分担金・負担金	-千円	-千円	千円	千円	千円				
	地方債	-千円	-千円	千円	千円	千円				
	その他	-千円	-千円	千円	千円	千円				
	一般財源	-千円	-千円	千円	千円	千円				
財源合計		-千円	-千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	借入先との契約により支払わなければならないものです。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市以外の事業主体は考えられません。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	有利な市債の活用に努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状のまま取り組みます。			
すぐに行ける改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
市債償還元金		千円	目標値								
			実績値			3049745	---	3083247	---	3195652	---
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	市債償還利子			事業コード	12010200101		
所管部署	財政課	電話	50-3020	記入者名	吉川 誠一		
事業対象	各金融機関。						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	効率的な行財政運営の推進			事業種別	内部管理事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	地方自治法					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	前年度までに借り入れた市債の償還利子。						
	○償還金、利子及び割引料 公債費 市債償還利子：405,578千円 ・償還計画に基づき、当該年度の利子償還金所要額について予算措置を行う。 ・借入先金融機関等から送付される請求書の内容と償還計画とを突合し、約定期日に支払う。						
事業の目的・事業の概要等							

すぐにできる改善提案	有利な条件での借り入れに努める。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	最も有利な条件を提示した金融機関からのでの借り入れを行った。		
中長期的に取り組むべき改善提案	中期財政計画に基づき、実質公債費比率を見極めながら借入を行う必要がある。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	普通交付税の代替財源となる臨時財政対策債や、交付税措置の高い合併特例債など財政措置の有利な地方債の借入に努めた。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	公債費	項	公債費	目	利子				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	405,577千円	426,068千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	405,577千円	426,068千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.38人	2,701千円	0.37人	2,630千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.38人	2,701千円	0.37人	2,630千円	人	千円	人	千円
	総事業費		408,278千円	428,698千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源								
国県支出金		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		408,278千円	428,698千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計		408,278千円	428,698千円	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	契約に基づき支払うべきものです。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市以外の事業主体は考えられません。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	少しでも有利な条件での借り入れに努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状のまま取り組みます。			
すぐにできる改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
市債償還利子		千円	目標値	421449	達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値			426068	---	462956	---	489500	---
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	一時借入金利子			事業コード	12010205101		
所管部署	財政課	電話	50-3020	記入者名	吉川 誠一		
事業対象	一時借入金利子						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）		
	基本計画	効率的な行財政運営の推進		事業種別	内部管理事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無	地方自治法					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	一時的な資金不足に備え、短期借入を行う際に発生する利子。						
	<p>○償還金、利子及び割引料返還金 一時借入金利子 0円</p> <p>一会計年度における歳入歳出が同額であっても、その年度内においては、収入・支出の時期の差に伴い、歳計現金（支払うための現金）に不足が生じる時期が発生することがある。</p> <p>予算計上額 1,000千円</p>						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	市債の早期発行や基金の繰替え運用などを行い、一時借入金利子の低減に努める。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	基金の繰替え運用により一時借入を行わなかった。		
中長期的に取り組むべき改善提案	今後、基金残高の減少が見込まれ、繰替え運用可能な基金残高を超える可能性があるため、取り崩しを極力抑えとともに積立に努め、一時借入金利子の低減に努める。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	市債の早期発行や基金繰替えなどにより、極力一時借入を抑え計画的な運用に努める。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	公債費	項	公債費	目	利子				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.18 人	1,280 千円	0.18 人	1,280 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.18 人	1,280 千円	0.18 人	1,280 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		1,280 千円	1,280 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源								
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源			1,280 千円	1,280 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計		1,280 千円	1,280 千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	契約に基づいた支払いです。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市以外の事業主体は考えられません。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市債の早期発行や基金の繰替え運用などにより、極力一時借入を行わないように努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状のまま取り組みます。			
すぐに行える改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
一時借入金利子		千円	目標値								
			実績値	0	---	0	---	6	---	0	---
一時借入金利子予算額		千円	目標値								
			実績値	1000	---	1000	---	1000	---	1000	---
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	減債基金		事業コード	13020200101	
所管部署	財政課	電話	50-3020	記入者名	吉川 誠一
事業対象	減債基金				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	効率的な行財政運営の推進		事業種別	内部管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市減債基金条例			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

市債の償還に必要な財源を確保し、もって将来にわたる市財政の健全な運営に資するため、減債基金を設置する。

○積立金	
減債基金積立金・利子分	7千円

市債の償還及び市債の適正な管理に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営に資するため、予算の定めるところにより減債基金の積立てを行う。また、基金から生じる運用収益は、歳入歳出予算に計上して、基金に繰り入れる。

【事業のコスト】

予算	款	諸支出金	項	基金費	目	減債基金費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	7千円	732千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	7千円	732千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.17人	1,209千円	0.14人	995千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.17人	1,209千円	0.14人	995千円	人	千円	人	千円
	総事業費		1,216千円	1,727千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	725千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円			
その他			7千円	7千円	千円	千円				
一般財源		1,209千円	995千円	千円	千円					
財源合計	1,216千円	1,727千円	千円	千円						

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	減債基金年度末残高	目標値		達成率		達成率
		実績値		32360	---	31628
活動	減債基金積立金額（利子分）	目標値		達成率		達成率
		実績値		7	---	3
活動	減債基金積立金額（新規分）	目標値		達成率		達成率
		実績値		725	---	20022
活動	減債基金取崩額	目標値		達成率		達成率
		実績値		0	---	0
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

すぐに行える改善提案	経費削減等により、基金の取り崩しを抑える。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	平成25年度は、基金の取り崩しは行わなかった。
中長期的に取り組むべき改善提案	今後、公債費の増が見込まれることから、極力取り崩しを抑え積立に努める。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	引き続き持続可能な財政運営を行っていくためには、積立金の確保が必要である。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	財政健全化に向けた取り組みを進める上では必要な基金であり、公債費が市財政の大きな負担となることが予想されることから、それに対応できる基金の充実を図ります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市以外の実施主体は考えられません。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	財政状況を踏まえ、基金の増額を図ります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状のまま取り組みます。			
すぐに行える改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

事務事業名	予備費		事業コード	14010100101	
所管部署	財政課	電話	50-3020	記入者名	吉川 誠一
事業対象	予定しない経費の支出予算。				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	効率的な行政運営の推進		事業種別	内部管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市財務規則			
関連計画・マニュアル	無				

予測しがたい将来の状況変化から生ずる財政需要に備えて、緊急を要する場合などに、予算外の支出又は予算超過の支出に充てる。

○予備費充当額 0円

各課で緊急的な不測の事態が生じて既存の予算に不足が生じた場合、決裁により予備費の充用伺いを行う。決裁された内容に基づき、不足予算に対して予備費を配分する。各課は、充用された経費を含んだ支出負担行為を行い、事務事業を実施していく。

予算計上額 10,000千円

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	今後も引き続き適正な執行と管理を行う。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	適正な執行と管理を行う。	
中長期的に取り組むべき改善提案	安易に適正時期を逸した経費のための予備費充用とならないよう、今後も予備費の適正な執行と管理を行う。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	今後も引き続き適正な管理執行に努める。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	予備費	項	予備費	目	予備費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.14 人	995 千円	0.14 人	995 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.14 人	995 千円	0.14 人	995 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	995 千円	995 千円	995 千円	995 千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
国県支出金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	995 千円	995 千円	995 千円	995 千円	千円	千円				
財源合計	995 千円	995 千円	995 千円	995 千円	千円	千円				

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	安易に適正時期を逸した経費のための予備費充用とならないよう、引き続き適正な管理を行います。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市以外の事業主体は考えられません。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状のまま取り組みます。			
すぐにできる改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	予備費予算額	千円	目標値 10,000 達成率	10,000 達成率	10,000 達成率	10,000 達成率
		実績値 10000 100	10,000 100	10,000 ---	10,000 ---	
活動	予備費充当額	千円	目標値	達成率	達成率	達成率
		実績値 0 ---	0 ---	3182 ---	1095 ---	
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率

【事業の成果】